

出産育児社員、最初の一人の対処法

— 実際にどんな注意が必要か？ —

《セミナーの狙い》

- ① 『育児休業規程』では、わからない実際の対応の仕方を知る
- ② 出産から育児までのトータルケアを会社側の視点で理解する
- ③ 上司や同僚の適切な対応でトラブル回避法を知る

人事部の皆様の次のような悩みを解決します！

- ◎ 直接の上司や、地方の営業所レベルでちゃんと対応してくれるか不安
- ◎ 上司や周囲のまずい対応でトラブルになった経験がある

プログラム

● 出産育児社員、最初の一人が出た時は？

- ・最近の育児の傾向・・・統計資料、意識調査より
- ・『出産育児カレンダー』で該当法令を確認、管理職コンプライアンスのため
- ・『出産育児カレンダー』で長期にわたる制度的サポートの確認
- ・実際にはどうということをするか、誰でもわかる『出産育児マニュアル』を作る

● 上司はどう対応するか？

- ・最初の相談者であるという自覚を持つ
- ・不用意な発言が非難の的に。・・・『これを言うてはいけない・・・禁句集』
- ・休業中の仕事の分担は計画的に

● 社内での意識を高める

- ・”イクメン”社員が出てきたら・・・男性社員の育児休暇
- ・法律にはない、育児中の社員のいる職場であるべきこと
- ・育児に関する社内のベクトルを統一

セミナー概要

【 日 時 】 終了しました。

【 会 場 】 弊社会議室 東京都千代田区六番町2番地8 番町 Mビル

【受講料】 無料

【 定 員 】 15社